



第1回定期支部委員会

各委員からの発言

土浦運輸区

会社の本人希望を無視した強制転勤を許さない為に、職場からたたかいをつくり出してきた！

工務連合

ブロック作時間帯解除の問題で、安全よりも施策優先の会社姿勢は許せない！変革のスピードアップの破綻だ！！

支社

戦略的スリム化なるコスト削減施策で、水郡線各駅の発電機が撤去してしまった。停電の復旧に時間がかかる場合に発電機を持って行って対応しなければならない。遠方なら1時間以上かかってしまう。設備のスリム化という名のコスト削減だ！これからは会社の施策に目を光らせていないと大変な事故が起こってしまう！

勝田運輸区

ダイヤ改正以降、優等列車で上野車掌区との混乗が新たに始まる。支社ごとの取り扱いの違いに問題があり、上野車掌区との意見交換で議論してきたことを交渉で会社に求め調整していくことが確認された。今後は同一線区を乗務している土浦運輸区とも議論が必要！

勝田駅連区

ダイヤ改正の変更点についての会社への質問の回答が曖昧。社員の不安解消に努めない会社姿勢に疑問。エルダー組合員の雇用に対する会社のあまりにも冷たい対応に憤りを感じる！長年会社のために努めてきた社員への対応を改めるべきだ！！

勝田車両センター

交番検査体制が3班から1班になり混乱。会社の説明が一切なし！
 昨年の職場代表者選挙での敗北以降、職場代表者とはどのような人が相応しいのか模造紙掲示などを作成し非組合員にも訴えてきた。職場の仲間の声を基に会社に求めていくことも大事。職場の仲間に会社の回答を返しながらか分会運動をつくり出していく！

水戸運輸区

労働者過半数代表者選挙において、添乗強化、会議室規制、支社幹部の来区による無言の圧力等、会社攻撃に負けないよう組合員・非組合員と議論をつくりだしている。色眼鏡で相手を見ることなく、相手と関ることをしなければ発展はないことを意識して、今後の組織強化と人間関係づくりを実践していく。

事務長総括答弁

● 安全問題について

各系統で考えられない事故・事象が多発している。コロナ禍に乗じて「変革のスピード」アップに躍起になり、鉄道の安全が危機に瀕している。乗務員勤務制度の破壊や社員化教育のためのマイプロ・委員会活動が優先され、技術継承がままならず本来業務の質を低下させてしまっている会社施策の落ち度にほかならない！会社の隠蔽体質を許さず、発生した事故・事象を掴むチェック機能の確立と仲間への処分撤回・元職場復帰にむけたたたかいを全職場からつくり出していこう！

● 組織強化・拡大について

過半数代表者選挙では、労働組合に加入した経験がない若手社員に押し付けではなく、相手の本音を引き出しながら労働者意識を高められる議論を、具体的にどのように構想するのが課題。労働組合の必要性を訴えながら、時期がきたら加入したいという仲間づくりを、自信と確信をもって実践し、更なる組織強化・拡大を勝ち取っていこう！